



農家民宿のどか
高橋 由希子さん

4年前に農家民宿を開業しました。農業体験の受け入れを通して人とのふれあいの楽しさを感じたことがきっかけです。当時は秋田県で最年少の農家民宿のオーナーでした。

開業について特に苦労したことはなかったのですが、最初のうちは勝手のわからない事ばかりで、最近になってやっと肩の力をぬいて受け入れができるようになりました。農家民宿の楽しさは地元にながら国内外を問わず新しい出会いが次々に生まれることと思います。

秋田市から嫁いで来てからずっと家族と一緒に農業体験の受け入れや農家民宿泊を行っています。関東圏や海外からの受け入れもしていますが、このことは仙北市や日本の良いところを再認識するきっかけになっているような気がします。我が家の小学生の長男は海外からの受け入れを行った時に英会話について興味を持っていました。同じ屋根の下に異言語の人がいることは子どもにとってはいろいろな事に好奇心を持つよいきっかけになっています。



農家民宿孫六荘
田口 悦子さん



農家民宿泰山堂からの景色

仙北市のグリーンツーリズム

自然と文化、人々との交流が地域を元気に

仙北市はグリーンツーリズムの先進地とされています。以前から農業体験の受け入れや農家民宿が多く開業していた仙北市では平成26年に台湾、インドネシア、ミャンマー、東ティモールなど5か国から194人の受け入れを行いました。仙北市のグリーンツーリズムの現状についてお話ししたいと思います。

グリーンツーリズムって？

農村地区に滞在し自然体験や農業体験をすること、農家民宿に宿泊することをグリーンツーリズムとよんでいます。平成6年「農山漁村滞在型余暇活動のための基盤整備の促進に関する法律」が制定されたのを機に、国もグリーンツーリズムを推奨するようになりました。仙北市でも「グリーンツーリズム」という言葉を少しずつ耳にするようになってきた頃からです。

仙北市では昭和40年代から

現在、仙北市はグリーンツーリズムの先進地とされています。長い間受け入れを行ってきた経験と知識があるのはもちろんのこと、たざわこ芸術村、グリーンツーリズム西木研究会、田沢湖ふるさとふれあい協議会などのグリーンツーリズムの受け入れ窓口が複数あり、それぞれが協力しあい積極的に活動していることが大きいと思います。また、日本のみならずどんな国からでも臆せず受け入れができるのも仙北市の特徴です。また歴史も古く昭和40年代までさかのぼります。昭和46

30軒の農家民宿は県内最多

市内には30軒の農家民宿があります。仙北市では体験を提供できる宿を「農家民宿」と定義しているため、中にはペンションタイプや茅葺き屋根の食事を提供しないタイプの宿など形態も様々で30軒は県内で最多の開業数です。

市役所としても地域の方々と協力して、グリーンツーリズムを通して農山村地域の交流人口を増やしていくことで市の均衡ある発展に力を入れていこうと考えています。農業体験の受け入れや農家

農業体験を含む教育旅行の受入れ人数の推移（単位：人）

平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
—	—	9,279	11,270	14,466

農家民宿の軒数の推移（単位：軒）

平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
27	28	29	29	29

※平成26年4月に1軒の開業（角館地区）があるため現在30軒。

農家民宿の利用者数（単位：人）

平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
9,415	9,681	8,609	10,202	10,057

農家民宿の外国人宿泊者推移（単位：人）

平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
372	236	125	306	300

※平成26年は1月-10月累計速報値（10か月間）で446人と大幅増。

農山村体験デザイン室（仙北市役所西木庁舎内）

福田・高倉・田口 ☎ 43-3353



民宿の開業などグリーンツーリズムと教育旅行の総合窓口である農山村体験デザイン室へいつでもご相談ください。

年の秋田国体開催時の受け入れ施設として、田沢湖の石神地区にたくさん農家民宿が開業します。国体終了後、この地域の方々は田沢湖高原の旅館等と協力し農業体験やスキー修学旅行の受け入れを開始します。また、同時期にたざわこ芸術村が首都圏からの教育旅行の受け入れを開始、滞在中の学生に農業体験を体験してもらおうとしました。この時、主に白岩・西明寺・神代地区の農家へ学生を数名ずつ送迎して農業体験してもらいましたが、このスタイルは現在も続いています。国がグリーンツーリズムに関する事業に力を入れるようになるのは、これからです。このことですが、その20年以上前から積極的に活動を行っていた地域になります。

